

## 樹皮ガードのズレについて



雪によるズレ下がり

ザバーン製樹皮ガードは 2001 年の発売以来クマ、ニホンシカ等による剥皮被害の防除資材として採用され評価を得てきた。ザバーン製樹皮ガードは、連続した太い糸が 4 層に積層された強靱なシートにプリーツ加工することによって、「伸縮自在で簡単施工」を実現した。

しかし、長期間の施工によりズレ下がる現場が報告されている。また、雪によって融雪時に引き下げられる現場も報告されている。

ザバーン製樹皮ガードは長期間の設置によるズレ下がりには、シートの劣化及びプリーツの伸びによるものとして当初から予測されていた。

ズレ下がることによる剥皮防除効果の低下はやむ負えない状態と認識していたが、クマ剥ぎに対してはその多くが、ズレ下がり後も効果を維持していた。

また、長期間の設置によるズレ下がりには、およそ設置から 8 年以上経過した現場から発生している。したがって、当商品の耐久性は 8 年以上でプリーツが緩んでズレ下がる。

また、シート自体の耐久性は 10 年以上はある。

## ズレ下がり対策

ズレ下がりには、商品の劣化が進むことで必ず起きる現象であることから防ぐことはできない。

しかし、これらのズレ下がりの現象をできるだけ長期間発生させない方法を紹介する。

ザバーン製樹皮ガードの高さに対して巻長をそれ以下に抑えることで自立性を高め、より長期間ズレ下らない状態を保持することができる。

当商品は、高さが 95cm と 160cm の 2 タイプを用意している。また、巻長は胸高直径の約 5 倍を推奨しているため、95cm の場合は胸高直径 20cm 未満、160cm は、30cm 未満の木を対象にすることを推奨する。



巻長

